

香取市の防災

防災行政用無線

市では、地震・台風等の非常事態など緊急にお知らせしなければならない情報を伝達するため市内各所に屋外放送塔を設置して、防災行政用無線を運用しています。
「よく聞こえなかった。」「もう一度、確認したい。」など、放送内容の確認については次の方法があります。

電話で確認

直前24時間以内に実施した放送を自動音声案内により確認することができます

電話（通話料無料） **0120-971-088**

香取市ホームページで確認

防災行政用無線の放送内容を市のホームページに直前60日分掲載しています。

PC版 <http://katori.e-bousai.jp/musen/>
モバイル版 <http://katori.e-bousai.jp/m/>

携帯メールで受信

防災行政用無線の放送内容を携帯電話にメール配信するサービスです。
登録方法は下記の「緊急情報メール配信サービス」をご覧ください。



緊急情報メール配信サービス

市では、緊急情報（防災情報・防災行政用無線情報・不審者情報）を携帯電話にメール配信するサービスを行っています。緊急情報は携帯電話に配信されますので、外出先でも確認することができます。
利用にあたっては、事前に登録が必要です。受信したい情報を選んで、登録をしましょう。

緊急情報の内容

- 防災情報**
気象、地震及びその他防災上必要な情報などが配信されます。
- 防災行政用無線情報**
非常事態、火災の発生鎮火、犯罪や事故の防止及びその他市行政の普及及び連絡に関する事など、防災行政用無線屋外放送塔から流れる情報と同じ内容が配信されます。
- 不審者情報**
子どもの安全に関する防犯・不審者情報などが配信されます

登録方法

次のホームページにアクセスして登録をしてください。

防災・緊急情報サイトモバイル版 <http://katori.e-bousai.jp/m/>



戸別受信機

戸別受信機は、屋外放送塔による放送が聞こえない、もしくは聞き取りにくい地域の方等のために、家庭に設置できるタイプの受信機です。
戸別受信機をお持ちでない方で、新たに貸与を希望される方は、市役所または各支所へ申し込みください。
なお、貸与を受けるには自己負担金の納入が必要となります。

自己負担金の額

市内居住世帯 戸別受信機購入価格の2分の1相当額（12,000円）
市内に事業所を有する法人または個人 戸別受信機購入価格相当額（24,000円）

全国瞬時警報システム(J-ALERT)

気象庁や内閣官房から送信される情報を自治体に送信し、防災行政用無線を自動起動させ、屋外放送塔と戸別受信機から次の情報が瞬時に放送されます。

緊急地震速報
（猶予時間がある場合のみ）

特別警報

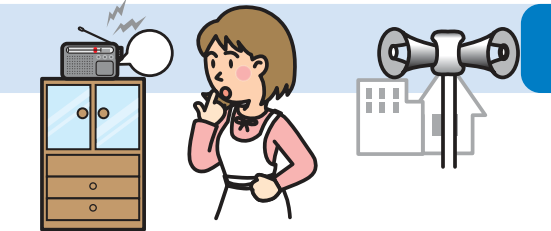
土砂災害警報

弾道ミサイル
攻撃情報

航空攻撃情報

ゲリラ特殊部隊
攻撃情報

大規模
テロ情報



自主防災組織の役割・目的

自主防災組織とは?

自主防災組織とは「自らの命は自ら守る」「自らの地域は自ら守る」という自主性に基づいて、地域住民が連携して防災活動を行う組織のことを言います。
自治会、町内会などの組織を生かして結成するのが一般的です。

どうして必要なの?

地域の防災に対する関心が高まっているなか、個人の力では限られてしまいますが、組織として活動することで、より効果的な活動が期待できます。
特に大規模な災害が発生した直後は、市役所・消防などによる対応が困難です。
地域住民が協力して助け合い、人命救助や消火にあたることで被害をより少なくすることにつながります。



どんな活動をするの?

平常時

- ・災害に対する心構えの啓発（研修会への参加など）
- ・災害発生の未然防止のための地域活動（地域の巡回など）
- ・災害の発生に備えて地域を知るための活動（避難場所などの把握など）
- ・災害発生時の活動習得するための活動（消火、避難訓練など）
- ・災害発生時の活動に備えるための活動（機材や備蓄品の管理など）

災害発生時

- ・情報収集伝達活動（救援情報の伝達など）
- ・初期消火活動（消火器による消火活動など）
- ・避難誘導活動（安否確認や介護が必要な人への援助など）
- ・救出救護活動（負傷者の救護など）
- ・避難所運営活動（避難所の開設や運営など）
- ・給食給水活動（救援物資の避難所への運搬・分配など）

自主防災組織を作るには?

市では組織設立に必要な会則例や届出書類など、手続きのお手伝いをしますので、お気軽にお問い合わせください。

香取市役所 総務課 ☎0478-54-1111(代)



耐震性貯水槽

市では、地震などの災害に備え飲料水を確保するため、市内5箇所に耐震性貯水槽を設置しています。この貯水槽には1人1日3リットルとして、10,000人が3日間使用できる飲料水が確保されています。水道管に接続されており、水道管の一部が大きなタンクになっている構造です。そのため、常に新しい水が循環しています。地震などで水道管が壊れた際に水の流出流入を自動で防止する装置がついていますので、貯水槽内の水は安全な飲料水として確保されます。手押しポンプやエンジンポンプで水をくみ上げて給水できるようになっています。

耐震性貯水槽設置箇所

香取市役所	佐原口2127
小見川市民センター	羽根川38
旧府馬小学校	府馬3429-4
栗源消防訓練場	岩部3458
新島中学校	佐原ハ4428

